

氏 名	職 名	学 位
大野 好司	教育専任教授	修士（学術）

担当科目	「教職概論」、「教育行政学」、「キャリアデザイン B・B2」、「キャリアデザイン A・B1」、「教職キャリアデザインⅠ」、「教職キャリアデザインⅡ」、「介護等体験事前指導Ⅰ」、「介護等体験事前指導Ⅱ」、「基礎演習」、「プレゼミ」、「総合演習Ⅰ」、「総合演習Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「教職実践演習」
研究分野	教育経営学
所属学会	日本教育経営学会 IAHPEDS（International Alliance for Health, Physical Education, Dance, and Sport：アイセップ：国際体育・ダンス・スポーツ連盟）

学会および社会における主な活動
一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 参与（2020年6月～） 一般財団法人 共生教育財団 評議員（2021年6月～） 川越市立川越高等学校教育審議会 委員（2023年3月～） 体育 ICT 研究会 最先端技術チーム副チーム長 AR 担当（2024年4月～） 2024年5月22日、東京ビッグサイトにおける EDIX2024（教育総合展）の SHARP ブースにて研究発表。対戦型 AR スポーツ HADO を活用した中学校を中心に各校種での授業を7校での実践、13回にわたる研究協議、3回の発表等の結果から、その有効性について報告。 2024年7月7日、東京学芸大学において開催された国際学会「2nd IAHPEDS World Congress（アイセップ:国際体育・ダンス・スポーツ連盟）」第2回大会において研究発表。タイトル「Research on The Possibility of Introducing AR (augmented reality) Sports to School Physical Education」（AR 技術に基づく対戦型 AR スポーツ HADO を活用した学校体育の実践）について、インクルーシブな学びの在り方や学習の転移性を検証した結果を発表。
主要研究業績
2024年12月1日、「スポーツマネジメント研究紀要第7号」に、「AR（拡張現実）スポーツにおける学校体育への導入可能性についての研究Ⅱ：インクルーシブな学びを保障する新たな体育授業の可能性」を発表。 2025年3月31日、「教職課程年報第7号」に、「Project Adventure の手法に基づく総合演習Ⅰ・Ⅱ（ゼミナール）の実践～教職課程履修者を中心として～」を発表。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
小泉 昌幸	教授	体育学修士

担当科目	健康教育法、サッカー指導法Ⅰ/Ⅱ、スポーツとウェルネス、スポーツ方法・球技A、スポーツ方法・ソフトボール、教養スポーツA、雪上実習、プレゼミ、スポーツマネジメント実習、総合演習Ⅰ/Ⅱ、卒業研究Ⅰ/Ⅱ
研究分野	スポーツ方法学、学校保健
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、 一般社団法人日本学校保健学会

学会および社会における主な活動	
埼玉県スポーツ協会 スポーツ・健康系大学等ネットワーク発足検討会議委員 スポーツキャリアサポートコンソーシアム(SCSC)会員	
主要研究業績	
「学校保健の授業内容に関する一考察（国公立大学について）」 尚美学園大学教職課程年報 第7号	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
海老原 修	教授	教育学修士

担当科目	スポーツ社会学 スポーツ社会調査論 アダプテッドスポーツ論 スポーツとまちづくり 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	スポーツ社会学
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 日本スポーツ社会学会 日本ウォーキング学会 日本発育発達学会 日本体育社会学会

学会および社会における主な活動
なし
主要研究業績
●海老原修（2024）：書評：39人の言の葉、体育の科学 74（8）：545. 202408.01 ●海老原修（2025）：箱根駅伝とメディア、丸善出版「スポーツ社会学事典」pp. 156-157. 2025.0130.
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
小野里 真弓	教 授	修士（スポーツ科学）

担当科目	・スポーツマネジメント論 ・チームマネジメント論 ・スポーツ文化論 ・総合演習Ⅰ・Ⅱ ・基礎演習	・スポーツマーケティング演習 ・スポーツ施設マネジメント演習 ・スポーツビジネス論Ⅰ ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ ・プレゼミ
研究分野	スポーツマネジメント，スポーツマーケティング	
所属学会	◆一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 ◆日本スポーツ産業学会 ◆日本体育・スポーツ経営学会 ◆日本スポーツマネジメント学会 ◆北関東体育学会	

学会および社会における主な活動	
◆北関東体育学会 理事（2027年3月31日まで） ◆第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会 施設整備専門委員会 委員（委員長） ◆第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会 式典専門委員会 委員（委員長） ◆川越市公の施設指定管理者選定委員会 委員 ◆北関東体育学会 第12回大会 大会長	
主要研究業績	
＜学会発表（口頭）＞ ◆日本体育・スポーツ・健康学会 第74回大会 ・「鶴ヶ島市地域クラブ化支援モデル事業への取り組み① ー鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」へのマネジメントアプローチ」 江向 真理子（鶴ヶ島市スポーツ少年団），小野里 真弓（尚美学園大学）， 水上 雅子（杉野服飾大学） ・「鶴ヶ島市地域クラブ化支援モデル事業への取り組み② ー地域子どもスポーツ振興におけるトータルマネジメントアプローチ」 小野里 真弓（尚美学園大学），江向 真理子（鶴ヶ島市スポーツ少年団）， 水上 雅子（杉野服飾大学） ・「地域子どもスポーツのマネジメント評価 ー鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」の試みー」 水上 雅子（杉野服飾大学），江向 真理子（鶴ヶ島市スポーツ少年団）， 小野里 真弓（尚美学園大学） ＜研究報告＞ ◆体育経営管理論集 第16巻（2024） ・「鶴ヶ島市地域クラブ化支援モデル事業への取り組み ー鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」へのマネジメントアプローチ」 江向 真理子（鶴ヶ島市スポーツ少年団），小野里 真弓（尚美学園大学）， 水上 雅子（杉野服飾大学）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
梶 孝之	教授	博士（体育科学）

担当科目	スポーツ史、スポーツマネジメント実習、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、 プレゼミ、スポーツ方法・体づくり運動、スポーツ方法・陸上競技、 e スポーツビジネス論
研究分野	体育・スポーツ史、スポーツ産業史、体育方法学
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、日本スポーツ産業学会、 東北アジア体育・スポーツ史学会、日本体育史学会

学会および社会における主な活動
○学会活動 スポーツ産業学会スポーツ産業史専門分科会 幹事 ○社会活動 1) トレーニングルームスチューデントスタッフを採用し、指導を行っている。学生には、将来、トレーナーやクラブ運営等に携わりたいという希望を抱く者が多く、進路としての可能性を開拓する必要がある。そこで、尚美学園大学学生を組み込み、管理運営経験の場を創出すると共に、トレーナー資格取得に必要な勉強会を設定し、学生の学習成果をキャリアに結びつけようと試みた。今後の活動のコアとなるべく学生 20 名を採用した。 2) 現在、日本全国で小学校、中学校、高校の教員業務ひっ迫が懸念されている。そのことから、学校部活動の外部指導者委託事業移行が進んでいる。埼玉県においてもその流れが加速しており、地域貢献活動として『ブライフ陸上教室』を設立し、尚美学園大学学生の指導者派遣システム構築に尽力している。 3) 川越市教育委員会 川越市地域クラブ活動連絡調整会議
主要研究業績
日本スポーツ産業学会編、2025 年 3 月、「スポーツ産業の歴史」、『スポーツ産業学入門』、晃洋書房。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
宮坂 雄悟	准教授	修士（教育学）

担当科目	「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」 「教育実習指導（保健体育）3年」「教育実習指導（保健体育）4年」 「教職実践演習」「介護等体験事前指導Ⅰ」「介護等体験事前指導Ⅱ」 「総合的な学習の指導法」 「雪上実習」 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
研究分野	保健体育科教育学、スポーツ社会学
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育科教育学会、 日本体育・スポーツ政策学会、日本教育社会学会

学会および社会における主な活動
全国体育学習研究会 広報委員 川越市国際化基本計画審議会委員
主要研究業績
「高校野球における観戦者の水分摂取量及び発汗量について」 第93回日本体力医学会中国・四国地方会（会場：徳島大学） 報告者：飯田智行、関和俊、高木祐介、西村一樹、宮坂雄悟
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
共同研究者として申請 文部科学省 科学研究費助成事業 2025年度 基盤研究（B） 「ゲーム論を用いた『体育から拓がる学び』のトライアングレーション」 （2025年度～2029年度 他4名）

氏 名	職 名	学 位
仁木 康浩	専任講師	修士（体育学）

担当科目	トレーニング論，教養スポーツ B（バレー・テニス），スポーツ方法・水泳，スポーツ方法・球技 C（バレー・バドミントン），基礎演習，プレゼミ，総合演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	水泳水中運動，トレーニング科学，身体動作学，コーチング学
所属学会	日本トレーニング科学会，一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会，日本バイオメカニクス学会，東京体育学会，日本水泳・水中運動学会，身体動作学学会

学会および社会における主な活動
○社会活動 ・（公財）日本水泳連盟 富山県水泳指導員養成講習会 講師 ・日本スポーツ協会共通科目コーチデベロッパー（CD） ○外部講師 ・文化学園大学「スポーツ演習」非常勤講師 ・東洋大学「健康づくり運動指導実習/健康づくり運動の実際」非常勤講師 ・東洋大学「スポーツ実習・指導法（水泳）」非常勤講師 ○出張講義 ・令和 6 年度公認スポーツ指導者「共通科目Ⅱ集合講習会」CD 2024 年 7 月 ・令和 6 年度公認スポーツ指導者「共通科目Ⅲ集合講習会」CD 2024 年 9 月 ・富山県水泳指導員養成講習会「水泳指導者・水泳指導法」講師 2024 年 9 月 ・埼玉県立朝霞西高等学校「スポーツ・健康に関わる仕事」講師 2024 年 11 月
主要研究業績
○仁木康浩，村松愛梨奈「大学生における着衣泳学習が水難のリスク認識と安全水泳技能の自己効力感に与える影響」尚美学園大学スポーツマネジメント学部紀要第 7 号 p.30-43（2024 年 12 月発行） ○仁木康浩，村松愛梨奈「大学水泳授業における指導内容の構成要素と指導視点の検討」尚美学園大学教職課程年報第 7 号 p.2-13（2025 年 3 月発行）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
舟木 泰世	准教授	修士(スポーツ健康科学)

担当科目	基礎演習，プレゼミ，総合演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究Ⅰ・Ⅱ，コミュニティスポーツ論，クラブマネジメント，スポーツ行政学，スポーツマネジメント実習，生涯スポーツ論
研究分野	スポーツ社会学，スポーツマネジメント，スポーツ政策
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会，日本生涯スポーツ学会，日本体育・スポーツ政策学会，日本体育・スポーツ経営学会，日本体育社会学会

学会および社会における主な活動	
【学会活動】 - 一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会選挙管理委員会委員 - 一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会体育・スポーツ政策専門領域研究誌企画・編集委員会委員 【社会活動】 - 公益財団法人日本スポーツ協会指導者育成委員会マネジメント部会 部会員 - 公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 常任幹事 - 公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会広報部会 部会員 - 公益財団法人日本スポーツ協会中期計画部会 部会員 - 公益財団法人日本スポーツ協会地域スポーツクラブ育成委員会 委員 - 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団活動開発部会 部会員 - 公益財団法人日本スポーツ協会地域スポーツ促進会議 委員 - 公益財団法人日本スポーツ協会令和 6 年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業地域スポーツ推進中央協議会認証制度モデル事業検証ワーキンググループメンバー - 公益財団法人日本スポーツクラブ協会評議員 - 公益財団法人日本スポーツクラブ協会カリキュラム専門委員 - 一般社団法人彩の国 SC ネットワーク監事 - 令和 6 年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員 - 川越水上公園スポーツクラブ運営委員会委員 - 公益財団法人笹川スポーツ財団地域スポーツ研究会委員 - 令和 6 年度地域クラブ活動への移行に向けた実証事業における調査・分析チーム コアメンバー - スポーツ庁令和 6 年度 Sport in Life 推進プロジェクト「スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業」審査員 - 令和 6 年度スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」「大学生指導員の養成・確保に関する実証事業」技術審査委員会 技術審査委員	
主要研究業績	
【論文】 「スポーツマネジメント実習における学生の「社会人基礎力」に対する実習先からの評価：2022 年度に着目して」舟木泰世，尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要第 7 号，2024，92-104. 【学会発表】 （口頭発表）「続・学校運動施設の怪談～三種の神器崩壊が始まった！？～」野川春夫・工藤康宏・岡安功・舟木泰世，日本生涯スポーツ学会第 26 回大会，2024. （ポスター発表）「災害時における公共体育施設の避難所としての機能・役割～避難者受入れ対応マニュアル作成の基盤研究」秋吉遼子・工藤康宏・舟木泰世・渡辺泰弘・野川春夫，日本生涯スポーツ学会第 26 回大会，2024.	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
茂木 康嘉	専任講師	博士(スポーツ科学)

担当科目	スポーツ生理学, 発育発達論, バイオメカニクス, 教養スポーツ C (卓球・バド), スポーツ表現 B (バドミントン), スポーツ表現 E (卓球), 雪上実習, 基礎演習, プレゼミ, 総合演習 I・II, 卒業研究 I・II
研究分野	発育発達学, バイオメカニクス, トレーニング科学
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会, 一般社団法人日本体力医学会, 日本発育発達学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本体育測定評価学会

学会および社会における主な活動
株式会社コーディスポーツ主催セミナー「運動指導者大学 公開総合講座」「発育期の運動指導に役立つ発育発達論」講師担当, 株式会社コーディスポーツ主催, 2024 年 8 月 子どもの体力測定教室の運営, 株式会社コーディスポーツ主催, 2024 年 8・9 月 子ども大学体験授業「体育・スポーツと身体の仕組みとの関わりについて学ぼう」講師担当, 子ども大学, 2024 年 11 月 鶴ヶ島市スポーツ少年団研修会「身体の発育と運動」講師担当, 鶴ヶ島市生涯学習スポーツ課 スポーツ少年団事務局主催, 2015 年 1 月 特別非営利活動法人子ども大学かわごえ 理事 中学男子野球部のトレーニング指導, 杉並区立中瀬中学校 高校男子野球部のトレーニング指導, 東京都立練馬高校
主要研究業績
Mogi. Y. Muscle architecture of the medial gastrocnemius during growth. Journal of Physiological Anthropology, 43(1), 33. 2024
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし